

ICTを活用した特定保健指導の実施状況について

～調査結果のまとめ～

特定保健指導におけるICTの活用状況 ～保険者調査概要～

■ 調査対象

ICTを活用した特定保健指導の実施状況を調査するため、「令和6年度宮城県特定健康診査・特定保健指導 実施状況 調査実施要領」55団体に対し調査を実施した。

■ 回答保険者数

保険者種別	回答数
市町村国保	35団体
被用者保険	16団体
国保組合	3団体
合計	54団体

■ 左記のうちICTを活用している保険者数

保険者種別	回答数
市町村国保	9団体
被用者保険	13団体
国保組合	2団体
合計	24団体 (前年度 + 3団体)

特定保健指導におけるICTの活用状況 ～ICT機器の種類と活用方法～

ICTを活用していると回答した24団体のうち、多くの保険者がZoom等の会議ツールを活用し、オンラインでの保健指導を実施されていた。

■ 活用しているICT機器の種類(複数回答)

ICT機器	回答数
会議ツール (Zoom等)	20団体
スマートフォン アプリ	14団体
ウェアラブル機器 (AppleWatch等)	5団体
計測機器（体重計、 血圧計等持ち運ばない機器）	5団体
その他(タブレット教材等)	6団体

■ ICTを活用した保健指導の実施方法

- ・ Zoomを活用し、遠隔地勤務や在宅勤務の従業員に対し、オンライン保健指導を実施している。
- ・ 食事や体重等を記録し、アドバイスや栄養指導を受けることができるスマートフォンアプリを使用している
- ・ 対象者にウェアラブル機器を着用してもらい、記録したバイタル情報、運動・食事内容等を活用して保健指導を行っている。
- ・ 訪問・来所した対象者にipadを使用して保健指導用資料を提示。ペンでの書き込みも可能。紙媒体も併用している。

特定保健指導におけるICTの活用状況 ～ICT導入の時期・理由～

コロナ禍が始まった令和2年度以降に導入した保険者が多かった。

■ ICTを活用した保健指導を導入した時期

時期	回答数
平成30年度以前	4 団体
令和元年度	1 団体
令和2年度	4 団体
令和3年度	3 団体
令和4年度	5 団体
令和5年度	3 団体
令和6年度	4 団体

■ 導入理由（複数回答）

理由	回答数
従業員(住民)の利便性向上	19 団体
従業員(住民)の希望	5 団体
保険者努力支援制度の評価指標	4 団体
第4期特定健診・特定保健指導プログラムの見直し	6 団体
その他	5 団体

その他：利用率向上

利用者がプログラムに参加しやすい環境整備
委託業者が導入しているため 等

特定保健指導におけるICTの活用状況 ～各保険者での実施率～

各保険者でICTを活用した保健指導実施率にバラつきが見られた。
被用者保険での実施率が高い傾向にあった。

■ 各保険者での実施率 A～F：市町村国保 G～L：被用者保険 M：国保組合

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	ICTを活用した保健指導実施者数(人)	全保健指導実施者数(人)	ICTを活用した保健指導実施率(%)	ICTを活用した保健指導実施者数(人)	全保健指導実施者数(人)	ICTを活用した保健指導実施率(%)	ICTを活用した保健指導実施者数(人)	全保健指導実施者数(人)	ICTを活用した保健指導実施率(%)
A 保険者	1	237	0.4%	8	318	2.5%	25	245	10.2%
B 保険者	328	469	69.9%	142	238	59.7%	79	264	29.9%
C 保険者	15	117	12.8%	18	125	14.4%	20	118	16.9%
D 保険者	3	211	1.4%	3	195	1.5%	2	171	1.2%
E 保険者	14	160	8.8%	7	139	5.0%	2	149	1.3%
F 保険者	－	－	－	2	158	1.3%	8	205	3.9%
G 保険者	230	747	30.8%	886	2762	32.1%	1238	2631	47.1%
H 保険者	－	－	－	39	65	60.0%	82	135	60.7%
I 保険者	230	747	30.8%	259	804	32.2%	482	820	58.8%
J 保険者	447	14347	3.1%	693	13787	5.0%	1353	15782	8.6%
K 保険者	277	277	100.0%	281	281	100.0%	300	300	100.0%
L 保険者	－	－	－	－	－	－	20	437	4.6%
M 保険者	－	－	－	－	－	－	5	59	8.5%

R5以前からの実施保険者のうち、実施率の記載なし、不明 7 保険者

特定保健指導におけるICTの活用状況 ～得られた効果～

対象者側の利便性向上、実施者側の業務効率化、等の効果が得られた。

■ICTを活用した保健事業を実施して、 得られた効果（複数回答）

対象者側の利便性向上 (時間の確保、遠隔地からの参加が可能になった等)	10団体
実施者側の業務効率化 (部屋の確保、移動時間の軽減等)	3団体
利用手続きの簡便化 (専用サイト開設等)	2団体

■ その他

- ・消費カロリー計算は早くできる。
- ・面接背景から生活環境がわかる。
- ・タブレット資料を使用することで理解につながる。
- ・対象者の利用意識が変化する
(利用へのハードルが下がる)。
- ・被扶養者の実施率が上がった。

特定保健指導におけるICTの活用状況 ～課題～

ICTを活用した保健指導を実施するにあたり課題を抱えている保険者が多い。
利用率の低さや環境整備(機器や通信環境)を課題に感じる保険者が多い。

■ ICTを活用した保健指導の課題(23団体が回答)

課題はある	15団体
課題はない	8団体

- ・希望者を対象にICTを活用した保健指導を実施したが、希望者が少なく実施件数が少ない。ICT保健指導のPRを強化しながら継続実施し、利用者の拡大につながるよう体制整備に努めたい。
- ・Zoomを活用した保健指導については、今年度からの実施ではあるが、周知方法に課題を感じる。機材やZoomのアカウント等DX推進課から借用して実施している。今後ICT活用に向けた環境整備及び運用継続に活用できる財源が必要。
- ・機器を使える日時に制約があるため、対象者とのスケジュール調整が難しい。
- ・希望者を対象にICTを活用した保健指導を実施したが、希望者が少なく実施件数が少ない。

ICTを活用していない保険者 ～導入していない理由～

住民(社員)からの需要の少なさから導入していない保険者が多い。
対面の保健指導のみで十分効果を感じている保険者も一定数存在する。

■ 導入していない理由について(複数回答)

予算的な問題	12 団体
マンパワー的な問題	10 団体
委託先にノウハウがない	7 団体
住民(従業員)からのニーズがない	15 団体
導入するために何をしたらいいかわからない	3 団体

■ その他自由記載

- ・利用者が少ないため
- ・委託業者の情報が少なく、対象者の利用環境など検討課題が多いため。
- ・委託事業者で利用予定だったが、導入を見送ったため実施できなかった。ZOOMの利用希望者もいなかった。
- ・利用できる体制は準備しているが、希望者がおらず今のところ利用実績が無い
- ・現時点では対面での実施で十分対応できているため 等

ICTを活用していない保険者 ～導入の検討と課題～

今後、導入を検討している保険者が8団体、来年度導入予定の保険者が1団体あった。導入したいが、保健指導利用者側のニーズが少ないことを課題とする保険者が多い。

■ 今後、導入を検討している保険者

検討している	8 団体
検討していない	2 1 団体

1団体回答なし

■ 導入予定時期

令和7年度	1 団体
令和8年度以降	2 団体
未定	5 団体

■ 導入に当たっての課題

- ・ ICTの利用環境の整備と操作に不安がある方への対応。（高齢者対策など）
- ・ 財源の確保
- ・ 特定健診・特定保健指導を委託しているため、委託先との調整が必要。
- ・ ICT利用の特定保健指導事業者選定をどのように行うか。

■ 導入予定の機器

会議ツール (Zoom等)	0 団体
スマートフォン アプリ	2 団体
計測機器	0 団体
ウェアラブル機器 (AppleWatch等)	0 団体
その他	1 団体
未定	5 団体